

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 6 年 2 月 14 日

公表：令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 児童発達支援センター向島あづみ（放課後等デイサービス）

		チェック項目	はい (%)	どちらでもない	いいえ (%)	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	25%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	50%	50%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75%	25%	0%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	25%	75%	0%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	アプリの活用	・アンケート集約にアプリを導入。回収率が向上。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	法人での公表	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25%	25%	50%		・第三者評価は現状では未実施。今後、実施について検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%		・ABAの研修を計画
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%	モニタリングにてアンケートを実施。	
	10	活動プログラムの立案をチームで行っている	75%	25%	0%		・ツールの項目が大まかなので、もっと具体的な項目がある物を使いたい
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%		・活動内容の大半がニーズに応じたオリジナリティの高いものである
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	75%	25%	0%		・休日・長期休暇用のプログラムを作成
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	社会貢献活動を実施。	・必要な児童には個別課題を設定している。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%	0%		
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50%	50%	0%		・時間設定はないが、都度、振り返りを実施。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	記録時間を設定	・支援の記録は日々入力し、職員間で確認している。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%		
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	25%	75%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75%	25%	0%		サービス担当者会議には担当者または管理者が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	0%		月に1回、各学校の行事予定表を確認している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	0%	受け入れていない	・受け入れていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%	0%	実施継続中	・法人内事業所との連携はできている。今後、他法人の事業所とも実施を計画したい。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%	0%		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	50%	50%		・事業所の支援としての交流の必要性を感じていない
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	25%	50%	25%		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	75%	25%	0%	LINE公式アカウント導入	・LINEの個別チャットを使用し情報を伝えている。 ・連絡帳にて日々の様子を連絡している。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	50%	50%		・実施できるものがないため、養成していく必要がある。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%		
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	必要に応じて実施	・相談要望のあった家庭に支援を実施
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	50%	50%		・保護者会の必要性を感じていない。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	75%	25%	0%		・法人の苦情解決制度に準じている。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	25%	75%	0%	LINE公式アカウント導入	・行事予定の配布（月1度） ・LINEによる、支援内容の連絡
	34	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	LINE公式アカウント導入	・連絡帳にて詳細の状況の連絡 ・LINEを使用しての個別連絡
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	50%	50%		・外出の機会及び外部講師による指導を実施している。 ・地域住民招待の必要性を感じていない。
	37						

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	25%	75%	0%		・警報発令時の対応について、保護者と共有している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%		・児童発達支援センターとして実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%		・児童発達支援センターとして実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に	75%	25%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75%	25%	0%		・保護者からの指示、依頼で実施
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	50%	50%	0%		・事例については、朝礼などのミーティングで共有

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年 3 月 31 日

アンケート期間:令和6年 1月 10日～令和6年 2月 13日

事業所名:児童発達支援センター向島あづみ 保護者等数(児童数:41(37世帯) 回収数:29 回収率78%

	チェック項目	はい (%)	どちらともいえない (%)	いいえ (%)	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	79	21	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	66	31	3	心理職を配置してほしい。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	55	35	10	二階建て、建物が古く、バリアフリーではない。駐車がしにくい。	令和5年度に駐車場拡張工事を実施。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	86	10	4	子供が考えてやりたい事をしているのは良いが、いつも子供は同じ事をしているのであまり意味がない。	モニタリングを活用するなどして、テーマを持たせて活動していること、話し合いの中でコミュニケーション力の向上が見られることを説明していくこととした。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	86	14	0	手話指導について、世の中にはいろんな人が居ることがわかっていいと思いました。購買活動を特に子どもは喜んでいます。周りの子の買い物を観察したり、お店でのルールや、店員さんとの会話など日常でのコマで自信がつくのは親としてもありがたいです。	手話指導をはじめ、外部講師による活動および社会体験活動を増やすことを計画している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	28	31	41	通常学級でバカにされることが多い。発達障害について説明してほしい。交流の機会があれば、いつもの友達とはまた違った子どもの姿が見れるのかなと思います。	交流活動について検討することとする。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	83	7	10		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	69	17	14	職員と話す機会が少ない。連絡も不十分と感じる	SNSを活用していつでもご意見をお聞きできる環境を整えた。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	76	24	0	職員と話す機会が少ない。連絡も不十分と感じる	SNSを活用していつでもご意見をお聞きできる環境を整えた。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	34	41	保護者会がなく、保護者同士での時間が取りにくい。	保護者会の必要性を感じていない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	55	34	10		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	72	28	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	65	28	7		
	14 個人情報に十分注意しているか	83	17	0		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	76	10	14		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	41	52	7		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	90	10	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	72	21	7	発達検査をしてほしい。家では出来ないいろんな活動を経験させてもらって感謝しています。	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等にに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。